

宇部市のごみ減量化に向けたこれまでの取組

宇部市では、平成14年11月から週3回の燃やせるごみの日に指定袋制を導入して以来、ごみの減量化に向けた様々な取組を行ってきました。

1. 資源ごみ拠点回収施設の開設（平成15年9月～）

新町の松浜公園となりと、黒石ふれあいセンターの敷地内に24時間いつでも出せる「資源ごみ拠点回収施設」を設置し、月1回収集の分別ごみのうち、「びん・缶」「ペットボトル」「新聞」「雑誌」「紙製容器包装」「段ボール」について、「資源ごみ拠点回収施設」で回収を行なっている。

2. 宇部市ごみ減量等優良事業所認定制度（平成15年10月～）

市内の事業所から排出される一般廃棄物の資源化や減量化を促進するため、ごみの減量化などに積極的に取り組んでいる事業所等を「宇部市ごみ減量等優良事業所」として認定し具体的な取組内容については、市のホームページなどで広く周知して活動を支援している。

事業所部門 19事業所を認定

エコショップ協力店部門 27事業所を認定（令和元年8月現在）

3. 3R講習会・ごみ分別説明会の実施

自治会や地域の団体、大学等に対し、ごみの分別方法や家庭で実施できる3Rの取組みを紹介する講習会を実施し、住民のごみ減量の意識の向上を図っている。

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
回数	50回	52回	41回	79回
参加人数	2,029人	2,127人	2,331人	3,711人

4. 啓発紙による普及・促進

3R講座や出前講座で使用する啓発資料に加え、3Rに関する情報を掲載した「3Rくる」を年2回程度発行し班回覧している。さらに、「広報うべ」にもごみ減量に関する情報を随時掲載し広報している。また、宇部市環境衛生連合会が年2回発行し市内に全戸配布している「衛生と暮らし」にもごみ減量につながる情報を掲載している。

5. 環境学習の実施

主に、市内の小学校4年生を対象として環境学習を実施している。

実施内容は、ゲーム形式で宇部市のごみ分別のルールを学べる「分別ゲーム」や実際にごみ収集を行っているパッカー車の見学、段ボールコンポスト体験学習など。

平成30年度実施実績

実施学校数 18校

参加児童数 2,049人

6. 家庭系廃食油のリサイクル事業を開始（平成23年4月～）

家庭系廃食油について、スーパーの店頭やふれあいセンター等の回収によるリサイクルシステムを構築し、廃食油から精製されたバイオディーゼル燃料(BDF)を交通局のバスやごみ収集車に使用した。

- ・回収場所 コープ宇部店、アルク（南浜店、恩田店、西岐波店、厚南店）、山口アポロ石油株式会社（宇部西営業所、八幡宮前営業所、ドリームライフアポロ）、川上・西宇部・船木ふれあいセンター 計11箇所
- ・BDF精製 (株)アースクリエイティブ（宇部テクノパーク）

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
回収実績	6,739ℓ	8,975ℓ	9,695ℓ	10,798ℓ	11,510ℓ
(対前年比)	55%↑	33%↑	8%↑	11%↑	7%↑

7. 段ボールコンポストの普及促進（平成23年5月～）

燃やせるごみのうち特に水分が多い生ごみについて、段ボールコンポストを使って良質な堆肥を作り、自然環境にやさしい循環システムの確立を図った。

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
一般向け講習会	33回	24回	22回	18回	12回
	706人	439人	490人	328人	219人
販売個数	794個	682個	599個	495個	560個
環境学習	小11校、中1校	小学校7校	小学校11校	小学校11校	小学校11校
	保育園7園	保育園7園	保育園8園	保育園2園	保育園4園
各種イベントでの展示説明会	9回	10回	11回	7回	5回

<販売箇所>ふれあいセンター（24か所）

8. 古着古布リサイクル事業（平成23年8月～）

家庭で不用になった古着・古布を各ふれあいセンター等で回収し、障害福祉サービス事業所でウエス（工業用雑巾）に加工している。

- ・回収場所 各ふれあいセンターなど公共施設 計31箇所

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
回収実績	61,055kg	54,791kg	45,407kg	46,781kg	48,915kg
(対前年比)	18%↑	△10%	△17%	3%↑	5%↑

9. 子育て支援リユース事業（平成24年6月～）

家庭で不用になった子供服・絵本を市役所等で回収し、リユースフェア等で希望者に無料で譲渡し、リユースの促進を図っている。

- ・回収場所 市役所本庁など 計11箇所
- ・ときわ公園内ときわ湖水ホール等で「子供服・絵本リユースフェア」を開催

		平成27年度 (11回開催)	平成28年度 (13回開催)	平成29年度 (12回開催)	平成30年度 (9回開催)
回収実績	子供服	18,791枚 3,854kg	19,797枚 4,165kg	17,508枚 4,081kg	20,681枚 3,470kg
	絵本	3,572冊 982kg	3,566冊 877kg	2,361冊 717kg	3,091冊 779kg
譲渡実績	子供服	14,562枚	16,627枚	17,884枚	15,292枚
	絵本	2,821冊	2,649冊	2,729冊	2,186冊

10. 使用済小型家電リサイクル事業（平成25年3月～）

家庭で不用になった小型家電を各ふれあいセンター等で回収し、再資源化の促進を図った。

- ・回収場所 各ふれあいセンターなど 計26箇所

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
回収実績	6,090kg	7,778kg	12,034kg	11,975kg
(対前年比)	19%↑	28%↑	55%↑	0.5%↑

1 1. 子育てグッズリユース事業（平成26年9月～）

家庭で不用になった子育てグッズ、子ども用スポーツグッズを市役所等で回収し、リユース広場等で希望者に無料で譲渡し、リユースの促進を図った。

平成28年4月からは学生服を、平成29年5月からは学用品を新たな品目として追加し、平成29年度より事前予約制による譲渡を開始。

- ・回収場所 市役所本庁など 計12箇所

		平成28年度 (6回開催)	平成29年度 (6回開催)	平成30年度 (6回開催)
回収実績	子育てグッズ	1,862個 1,845kg	1,259個 1,212kg	1,245個 1,769kg
	(うちスポーツグッズ)	(676個)	(294個)	(341個)
譲渡実績	子育てグッズ	1,270個	1,245個	1,132個
	(うちスポーツグッズ)	(294個)	(374個)	(341個)

1 2. ごみステーションでの啓発活動（平成28年2月～）

平成28年2月から週3回の燃やせるごみの日の朝7時30分頃から8時30分まで、利用者が多いステーションに職員が立哨し、ごみを出しにきた住民に分別指導行うなどの啓発活動を行った。

1 3. 食品ロス削減の取組（平成28年度～）

食べられるのに捨てられてしまう「食品ロス」の削減の取組を推進している。

主な取り組みは下記のとおり

・3010運動

忘年会や新年会など、会食の機会が増える12月、1月を「30・10運動推進強化月間」と位置づけ、一層、推進に取り組んだ。

また、食品ロスの約半分は一般家庭からのものであることから、毎月10日と30日を「家庭で取り組む30・10運動の日」として、家庭での食品ロス削減を推進した

・やまぐち食べきり協力店の拡大

食品ロスの削減に積極的に取り組んでいる飲食店や旅館・ホテルを山口県が『山口食べきり協力店』として登録しており、取組の普及・促進のため、平成28年度からは職員が市内の飲食店や旅館・ホテルを訪問し登録店の増加を図った

宇部市内の登録店舗数

13店舗（平成27年度末）→63店舗（令和元年度8月現在）

- ・エコクッキング教室の開催

いつもは捨ててしまう野菜の皮や魚のあらを使ったり、冷蔵庫の中の余った食材を利用することでごみを元から減らす『エコクッキング』を普及させるため、市が単独で主催し開催していたエコクッキング教室を、平成28年度より宇部市食生活改善推進協議会との協働とすることで、エコクッキング教室の開催数を大きく増やし多くの市民に食品ロスの削減意識を高めている。

エコクッキング教室の開催回数 72回開催（平成25年度からの累計）

- ・フードバンク（令和元年7月～）

家庭や事業所等で余っている食品を回収し、必要とする団体等に譲渡するフードバンク事業を開始した。

14. ごみ減量アイデアコンテストの実施（平成30年度）

市民の皆さんからごみの減量化に向けたアイデアを募集し優秀なアイデアの表彰を行った。また、提出されたアイデアを情報提供し、減量効果のあるアイデアをモデル事業として実施した。

- ・アイデアの活用

応募作品は、ホームページ等で市民に広く周知して活用する他、減量効果の見込まれる優れたアイデアについては、モデル事業として実施し減量効果を検証した。

モデル事業として実施した事業は以下のとおりで、令和元年度からは、事業化している。

古着・古布回収モデル事業

資源物地域拠点回収モデル事業

15. スマートフォンを活用したごみ分別案内（平成31年2月～）

スマートフォン無料通信アプリのLINEにおいて、宇部市のごみの分別方法や収集日に関する質問に自動で答えるアカウントを立ち上げた。大学生などの若年層をターゲットとしている。

- ・登録数 2,979人（令和元年8月15日現在）